

**国立駅周辺まちづくり  
基本計画に153億円**

**市の借金(43億円)と土木費をふやし  
増税・公共料金の値上げで**

**明るく  
くいたち**  
2010年新春号  
発行：明るくくいたち社  
☎(042)576-0655  
http://www.icpkunichi.org/  
日本共産党国立市支部の発行物ではありません。

# 国立駅周辺まちづくり計画は見直しを!

**市長が初心にかえって公約を  
守りぬけるように励ます**  
これが与党の役割です — 日本共産党 —

**反対の多い 160mで42億円も  
都市計画道路3・4・10号線  
臨時会 野党会派と  
与党4人で認定可決**

**「身の丈で政策立案していく市民市政こそ  
が私の信条です」**  
財政をより健全化させていただきます  
身の丈財政と土木財政、あなたはどちらに国立の未来を託しま  
すか?  
…今また「街づくり」「基盤整備」と称して、国立駅周辺や南部地  
域に莫大な土木予算を投入しようという声ができています。…  
国立市が現在置かれている状況を市民と共有し、身の丈で政  
策立案していく市民市政こそが私の信条です。  
(関口市長の公約ビラより)

国立市は「駅周辺まちづくり基本計画」を11月の庁議で決定し、20日の臨時会で「3・4・10号線道路」の道路認定と道路事業予算の一部を可決しました。

日本共産党・社民党は反対し、民主党は退席しましたが、野党会派と生活者ネット、みどりの賛成で可決しました(下表)。多くの市民からは疑問の声がいただされています。

## 世論調査アンケートで、 3・4・10号線道路反対は64%

まちづくり市民団体の無作為抽出による全市的世論調査アンケートでも、「国立駅周辺まちづくり基本計画案」について、よく知らない人が63%です。また、3・4・10号線道路の延長について反対の人は64%です。

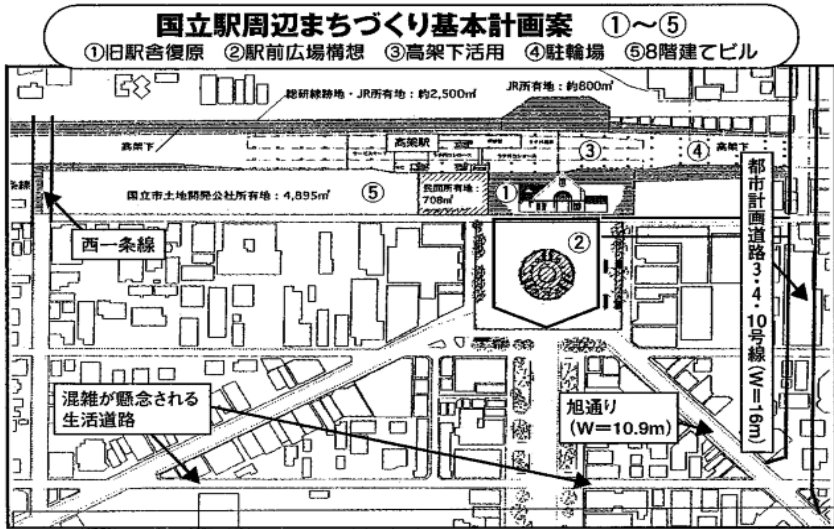
日本共産党は市民とともに、ひきつづいて計画の見直しを求めています。

## 「道路すぐ着手しなければ予算認めない」と 毎議会で市長に迫る自民・公明・明政会など

2009年3月・6月・9月議会毎に自民党などは、3・4・10号線道路をすぐ着手するよう執拗に求めてきました。今回も11月に臨時会で、道路提案しなければ、12月議会で協力しないと市長に迫りました。

これは、市長が土木財政をふやすことで公約を破らせ、市民の信頼を失わせることにこそ真のねらいがあるのではないのでしょうか。

市長は、市民への公約をきりと守り、身の丈にあったまちづくりに見直すべきです。保守市政に戻させないために与党議員も団結して、市長が公約を守るよう励ますことが必要です。



2009年11月20日 臨時会		線3・4・10号 の認定	都市計画道路 補正予算 原案	補正 修正 案
	高原 幸雄			議長
(日本共産党)	小沢やす子	×	×	○
	長内 敏之	×	×	○
	吉村 三奈	×	×	○
(生活者ネット)	阿部美知子	○	○	×
	板谷 紀子	○	○	×
	小川 宏美	○	○	×
(社民党・みどり)	重松 朋宏	○	○	×
	藤田 貴裕	×	×	○
(民主党)	生方 裕一			退席
	丸井 皇明			退席
(自由民主党新政会)	青木 健	○	○	×
	石塚 陽一	○	○	×
	松嶋 寿延	○	○	×
	石井 伸之	○	○	×
(公明党)	斉藤 安由	○	○	×
	中川喜美代	○	○	×
	鈴木 律誠	○	○	×
(明政会)	小口 俊明	○	○	×
	関 文夫	○	○	×
(政和会)	大和 祥郎	○	○	×
	井上 健	○	○	×
(こぶしの木)	上村 和子	○	×	×
(つむぎの会)	池田智恵子	○	○	×
	結果	○	○	×



# 2010年度 市の財源 18億円足りないと言明し、市民に負担増 一方で駅周辺まちづくりに153億円

市民一人あたり  
20万円の事業費

国立市は、市財政が毎年10億円足りないと言明してきていますが、12月議会では、2010年度、市税約2億円減を含め18億円不足としています。根本原因は、長年の自民・公明政治による経済悪化と地方財源削減です。

そうした中で、市は2009年1月に、「財政健全化方策案」で家庭ごみの有料化、下水道使用料・国民健康保険税の値上げ、障がい者施設の運営費削減、公立保育園の民営化などの市民負担増を提案しました。また、福祉・教育の施策の後退もされようとしています。

一方で、市は153億円もの「駅周辺の大型事業」をすすめています。これでは到底市民の理解はえられません。

“今のままだいい”  
“身の丈にあったまちづくりを”  
が、多くの市民の声



都市計画道路3・4・10号線延長の見直しを求めるポスター

- ◇静かな住宅街に通過車輛を呼び込む道路は反対です。商店街にももっと車が増え、危険です。
- ◇ロータリーをつぶすことは大正時代に先人がまちをつけた理念を壊し、戦後の文教地区指定運動で守り育ててきた環境を壊すこととなります。
- ◇高架化で国立駅から立川寄りに5本の通過道路ができるのに、新しい道路なぜ必要か疑問。
- ◇国立駅前に一般車が入れないのでは、高齢者など家族の送迎ができなくなると困ります。
- ◇国立駅周辺だけにお金をかけるのではなくて、谷保・青柳のまちづくりや保育園・市役所の耐震化、保育園の待機児の解消、学校の教育条件整備にお金をかけてほしい。

市財政

## 私たちの考え 日本共産党

### 増税・公共料金の値上げを抑え 不要不急の大型事業はやめさせます

1. 市民のくらし第一を貫き、不要不急の大型事業は抑えます。
2. 高い利率の利子(下水道債等)借り換えなど、市役所内部の努力を徹底すること。
3. 地方交付税の財源補償と調整機能の復元・拡充をすすめるように国に要求し、赤字公債については国の責任で解消する。東京都の多摩財政格差の解消を求める。これらを他の自治体や市民とともに新政府や都へ積極的に働きかけること。

駅周辺まちづくり

1. 都市計画道路3・4・10号線延長計画は見直します  
南北延長で57億円もの事業費で通過車輛を呼び込み、環境破壊につながります。
2. ロータリー機能の保存と旧「駅舎」復原を  
駅前ロータリー機能は歴史的文化遺産です。駅前広場構想で一般車輛を締め出せば、旭通りや富士見通り、東西の道路も混雑します。旧駅舎復原は市民やJRの協力ですすめます。
3. 駅前にこれ以上のビルはいらない  
8階建てビル計画はやめて、当面駐車場・駐輪場として活用します。
4. 中央線高架下の利用は市民要望で  
高架下の活用についてJRとの話し合いが始まっています。市民要望のつよい、駐輪場・図書館・市の窓口などを設置します。

お金がかかりすぎる国立駅まちづくり事業試算(単位:百万円) 2009年11月国立市

事業	駅周辺事業内容	事業費	補助金	起債	一財
複合施設	①複合施設等用地取得	2,841	974 (551)	1,096 (620)	771 (1,670)
複合施設	②複合施設建設	1,905 (3,809)	762 (762)	858 (858)	285 (1,989)
複合施設	③複合施設内整備	562	225	253	84
旧駅舎	④旧国立駅舎復原	80	32	36	12
駅広	⑤南口広場拡充整備	694	277	313	104
駅広	⑥南口広場整備	413	165	186	62
駅広	⑦北口広場拡充整備	528	211	238	79
駅広	⑧北口広場整備	165	62	70	23
高架下	⑨高架下駐輪場整備	75	30	34	11
高架下	⑩高架下市民利用施設整備(15%分)	325	130	146	49
高架下	⑪駅東側高架沿い整備	30	12	14	4
道路	⑫総研線跡地プロムナード整備	63	25	29	9
道路	⑬西1号線道路整備	80	32	36	12
道路	⑭北1号線コミュニティ道路整備	23	9	11	3
道路	⑮都市計画道路3・4・10号線延伸部分(南)道路整備	4,213	2,844	1,056	313
道路	⑯都市計画道路3・4・10号線延伸部分(北)道路整備	1,449	891	376	182
道路	⑰西1号線延伸部分道路整備	103	77	19	7
道路	⑱西1号線コミュニティ道路整備、他文差点改良等	64	26	29	9
小計		13,603 (15,307)	6,784 (8,361)	4,800 (4,324)	2,019 (4,622)
用地売却益(複合施設余剰売却益)					▲294 (2,334)
計		13,603 (15,307)	6,784 (8,361)	4,800 (4,324)	1,725 (2,288)

下段( )の数字は、8階建てビルにした場合

## 参議院選挙で「建設的野党」日本共産党をのばして下さい



こいけ  
**小池あきら**  
参議院議員・党政策委員長  
東京選挙区予定候補



たむら ともこ  
**田村 智子**  
比例代表予定候補



高原 幸雄  
市議会議員  
総務文教委員



小沢やす子  
市議会議員  
建設環境委員



長内 敏之  
市議会議員  
総務文教委員



吉村 みな  
市議会議員  
福祉保険委員